

大仙市花火産業構想 第Ⅱ期 アクションプラン

取組状況について

花火産業構想推進
プロジェクト会議
令和5年6月

大仙市花火産業構想

第Ⅱ期

『日本の花火』の持続的発展と地域経済の活性化に向けて



花火産業構想推進プロジェクト会議
平成31年3月

目次

施策1	花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す拠点づくり	
1-1	花火伝統文化継承事業	4
1-2	「花火のまち」中心市街地環境整備事業	5
1-3	花火イベント等情報発信事業	6

施策2	花火を支える人材育成・研究開発の場の創出	
2-1	花火師育成・確保支援事業	7
2-2	「花火のしごと」魅力発信事業	8
2-3	「メイドイン大仙」花火原料開発事業	9
2-4	花火学習プログラム展開事業	10

施策3	日本屈指の花火製造・打上技術を基盤とする 新たな花火生産拠点づくり	
3-1	高品質汎用花火玉製造販売事業	11
3-2	県内産花火用マツ炭販売普及事業	12
3-3	国産無線点火システム販売普及事業	13
3-4	花火イベント企画運営サポート事業	14
3-5	花火製造工程の自動化・省力化	15

施策4	花火ブランドを活かした観光・商業・農業振興策の強化・拡充	
4-1	「大曲の花火」出品業者宿泊施設・大会運営管理施設 建設事業	16
4-2	国際花火観光都市交流推進事業	17
4-3	国際花火競技大会開催事業	18
4-4	四季の「大曲の花火」開催・販売促進事業	19
4-5	“あなただけの花火”打上事業	20
4-6	花火大会におけるイベント民泊の推進	21
4-7	お土産商品ブランド「せんのぜん」展開事業	22
4-8	「大曲の花・美（はな・び）」ダリア販売普及事業	23
4-9	「花火のまちのまるごとデジタルスタンプラリー」開催事業	24
4-10	地域の花火大会等応援事業	25

1-1 花火伝統文化継承事業

花火に関する資料の収集保存を行うとともに、花火の文化的価値を高め、継承し、広く示す施策の推進を図る

■ 令和4年度 3階花火資料室企画展の実施状況

R4.2~R4.7 ドイツで上げた大曲の花火～ボン&デュッセルドルフ～



R4.8~R5.1 花火の道具



R5.2~開催中 世界を動かした「大曲の花火」-花火は平和の象徴-



■ 令和4年度 別館特別企画展の実施状況

R4.8~R4.10 打ち上げ現場の舞台裏



■ 令和4年度 3階花火資料室テーマ展示の実施状況について

花火パッケージ展～お菓子編～

大仙の花火師たち 花火創造企業

花火と乗車券

■ 花火資料収集及びデジタル化の進捗状況について

項目	R2年度末	R3年度末	R4年度末
花火資料収集点数（累計）	16,967点	17,666点	21,493点
花火資料デジタル化件数（累計）	8,907件	9,509件	10,326件
デジタル化完了率	52.5%	53.8%	48.0%

収集・保存した資料を活用し、魅力ある企画展示を実施することにより、花火の伝統文化としての価値を高め、広く発信していく

1-2 「花火のまち」中心市街地環境整備事業

花火をモチーフとしたサインの整備、「はなび・アム」周辺での物販スペース等の設置により「花火のまち」を印象づけ、賑わいを創出する

■ Bium Shop (ビウムショップ) の設置について



- ✓ 観光物産協会が運営主体となり、トレーラーハウスを使用した物販・観光ブース「ビウムショップ」を設置（令和4年4月27日～11月6日）

■ イベントの開催について



- ✓ SPRING FESTA時には、付帯イベントとして線香はなび作り・おもちゃ花火体験や健幸ウォーキングを実施した。（令和4年4月29日、30日）



- ✓ 「はなび・アム」隣地については、中心市街地の好立地を生かしながら、花火大会時の駐車場やイベント開催場所としても活用を検討する。

引き続き物販・観光ブースを運営するとともに、「はなび・アム」隣地を活用したイベント開催等により、中心市街地の賑わい創出につなげていく

1-3 花火イベント等情報発信事業

インターネットやコミュニティFMを活用し、「大曲の花火」を中心とした花火イベント等の情報を国内・海外へ向けて発信する

■「FMはなび」花火情報番組放送について



- ✓ 花火大会や花火鑑賞方法に関する情報番組「花火の星」を放送
※日曜4:00～4:30、木曜21:00～22:00
(日曜は全国ネット放送)
- ✓ R4はSPRING FESTA(4月29日、30日)、全国花火競技大会(8月27日)、秋の章(10月1日)当日に生中継特別番組を放送した。

花火に関する情報を広く発信し、
大仙市への誘客と花火文化への理解深耕を図る

■「大曲の花火」関連ホームページについて



- ✓ 「大曲の花火」が開催されたため、前年度比8倍以上のアクセスがあった。

項目	H30	R1	R2	R3	R4
大曲商工会議所 (公式サイト)	184,248	403,916	100,056	24,755	273,434
大仙市 観光物産協会	41,069	35,794	11,783	15,545	13,732
大仙市	19,938	23,192	2,713	1,277	57,602
計	245,255	462,902	114,552	41,577	344,768

引き続きSNSと連動しながら積極的に情報発信をしていくほか、
より見やすいホームページとなるよう取り組む

2-1 花火師育成・確保支援事業

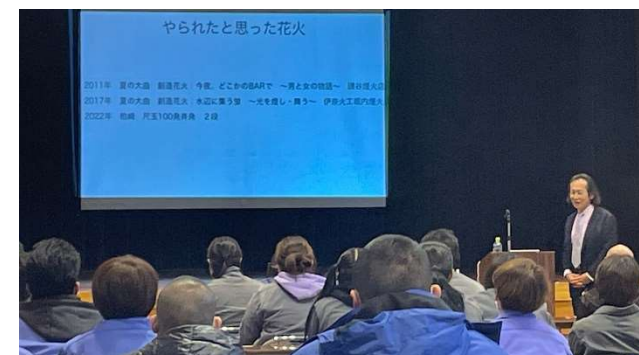
火薬類製造保安責任者等の資格取得支援や、市内高校向け特別講座、花火師向けスキルアップ事業を実施する

■ 花火師向け資格取得支援講座の実施状況

年度	実績等
H29	【火薬類保安責任者（乙種取扱）】 開催期間：8月28日～9月1日 受講者：7名（合格者5名）
R2	①【火薬類保安責任者（乙種製造）】 開催期間：10月22～23日 受講者：11名（合格者0名） ②【火薬類保安責任者（丙種製造）】 開催期間：11月25日 受講者：8名（合格者6名） ③【火薬類保安責任者（甲種取扱及び乙種取扱）】 開催期日：11月26日 受講者：8名（合格者5名）
R3	①【火薬類保安責任者（乙種取扱）】 開催期間：7月26日 受講者：6名（合格者1名） ②【火薬類保安責任者（丙種製造）】 開催期間：7月26日 受講者：6名（合格者2名） ③【火薬類保安責任者（乙種製造）】 開催期間：10月18日 受講者：6名（合格者1名）
R4	①【火薬類保安責任者（甲種取扱）】 開催期間：9月4日 受講者：5名（合格者1名） ②【火薬類保安責任者（丙種製造）】 開催期間：9月4日 受講者：3名（合格者0名） ③【火薬類保安責任者（乙種製造）】 開催期間：11月8,9日 受講者：3名（合格者0名）

■ 花火師向けスキルアップ講座

- ✓ 開催日：令和5年3月2日
- ✓ テーマ：「日本の花火の安全性や芸術性、今後の可能性について」
- ✓ 講師：東京大学名誉教授、全国花火競技大会審査委員長
新井 充 氏
- ✓ 参加人数：82名



■ シミュレーション花火作品発表会

- ✓ 開催日：令和5年3月22日
- ✓ 内容：市内5社からシミュレーションソフトを使用した作品が発表された。発表された作品は令和5年4月29日の春の章においてインターバル花火として実際に打ち上げられ、花火師の演出力向上に繋がった。

花火師の能力向上の機会を創出し、花火の振興を支える人材育成を図る

2-2 「花火のしごと」魅力発信事業

花火に携わる仕事の魅力を無料職業紹介所、首都圏移住相談会等で発信し、若年層の地元定着、移住・定住、Aターンの促進を図る

■ 大仙市移住促進無料職業紹介所の運営

大仙市
無料職業紹介所

大仙市のくらしをはじめ、あなたのお仕事探しをお手伝い

大仙市の移住支援制度

移住者ネットワーク交流会

大仙市魅力体験住宅 youkoso

✓ 無料職業紹介所を運営し、移住コーディネーターが仕事に関する悩みの解決をサポート

■ 移住相談会等での情報発信

秋田県大仙市は、お米と花火が自慢です

充実の子育て支援!

- 結婚祝い、出産祝いとして地域商品券を交付
- 子育て世帯の住宅リフォームを支援
- 18歳未満年度末までの医療費の無償化
- 3〜5歳児の保育料及び給食費無償化
- 2歳児の保育料を無償化(令和4年8月から)
- 在宅保育手当ての支給(3〜5歳児)
- 病児・病後児保育の実施
- インフルエンザ予防接種費用を支援
- おたふくかぜ予防接種費用を支援

大仙市への移住を支援!

- 引越費用を支援 最大3万円
- 若者夫婦世帯と子育て世帯の家賃を支援 最大36万円
- 住宅取得の費用を支援 最大120万円
- 東京圏からの移住を支援
- 移住促進無料職業紹介所による就職支援

ふるさと納税

大仙市企画部移住促進課 ☎0187-63-1111 (内線224-234) 📧city@daisen.lg.jp

✓ 首都圏の移住相談会や雑誌掲載等、様々な場面での情報発信

■ 職業体験やインターンシップの検討・実施



✓ 高校生等の職場見学の受入のほか、職場体験やインターンシップについて検討・実施

■ 移住体験ツアーの実施



✓ 花火工場見学や模擬花火玉作りの体験、四ツ屋まつりの花火鑑賞を行った

花火に携わる仕事の魅力を発信し、大仙市への移住・定住の促進と花火会社の雇用確保を図る

2-3 「メイドイン大仙」花火原料開発事業

秋田県立大学と連携し、花火に最適なマツ炭の製造条件・粉碎条件のほか、市内の農林生産物の花火製造への活用を研究する

■ 「メイドイン大仙」花火原料開発事業の経緯について

市内農林資源の花火原料への活用を検討

- ✓ 秋田県立大学と連携し、花火の原材料となりうる農林資源を調査
その結果、アカマツの活用が有望と判明
- ✓ 大仙市にて花火用マツ炭を生産・製品化し、
全国の花火会社へ販売する計画を策定



H27～H28



H29

炭焼き窯の導入による炭の生産開始

- ✓ 市が鉄製の炭焼き窯 4 機を購入し、
(一社) 大仙市観光物産協会に貸与
- ✓ 同協会が主体となり、臨時職員2名を雇用
旧西仙北スキー場でマツ炭の生産を開始



H30

(株) 花火創造企業が粉碎施設を整備

- ✓ 自社事務所の隣接地にマツ炭粉碎施設を
整備し、粉碎機等の機械設備を導入
- ✓ 炭焼きから粉碎までの一連の設備が整い、
市内で花火用マツ炭が生産可能になる



R1～R3

マツ炭販売普及事業の本格スタート

- ✓ 製品の品質確認体制を整えながら、
花火用マツ炭の量産を開始
- ✓ 工業分析により、市場流通の製品と花火創
造企業の製品の成分等を比較研究



花火玉原材料以外の活用方法があれば機会を捉えて事業を再開する。

2-4

花火学習プログラム展開事業

「花火鑑賞士」資格制度の普及や花火鑑賞をテーマとしたセミナー開催により、花火を学び親しむ機会を提供し、花火ファン層の拡大を図る

■ 大曲花火倶楽部・日本花火鑑賞士会による取り組み

花火鑑賞士認定試験



鑑賞士セミナー



花火大会時セミナー



イベント出張セミナー



- ✓ 全国花火競技大会に合わせ、セミナーが開催された。
- ✓ 秋の章にあわせ、花火鑑賞士認定試験が行われ、新たに54名の花火鑑賞士が誕生した。

■ 神岡ICTラボによる取り組み

全国バーチャル花火競技大会（令和4年10月23日）

- ✓ 小学生がプログラミング（Scratch）で作成した花火の競技大会
- ✓ 大仙市の地域資源である花火を活用し、子どものためのプログラミング学習の場を提供するねらい
- ✓ Web配信（YouTubeでの生配信）で開催、県内外から48名が参加



■ 大曲の花火「秋の章」での取り組み

秋の章小学生観覧事業（令和5年10月1日）

- ✓ 大仙市内の全ての小学6年生を対象に、希望者本人＋保護者1名を秋の章の観覧席を無料で提供した。
- ✓ 令和4年度は市内8つの地域46組92名に観覧の機会を提供した。

オンライン技術の活用も含め、各種セミナーを継続的に開催することにより、花火を学び親しむ機会を広く提供し、花火ファン層の拡大を図る

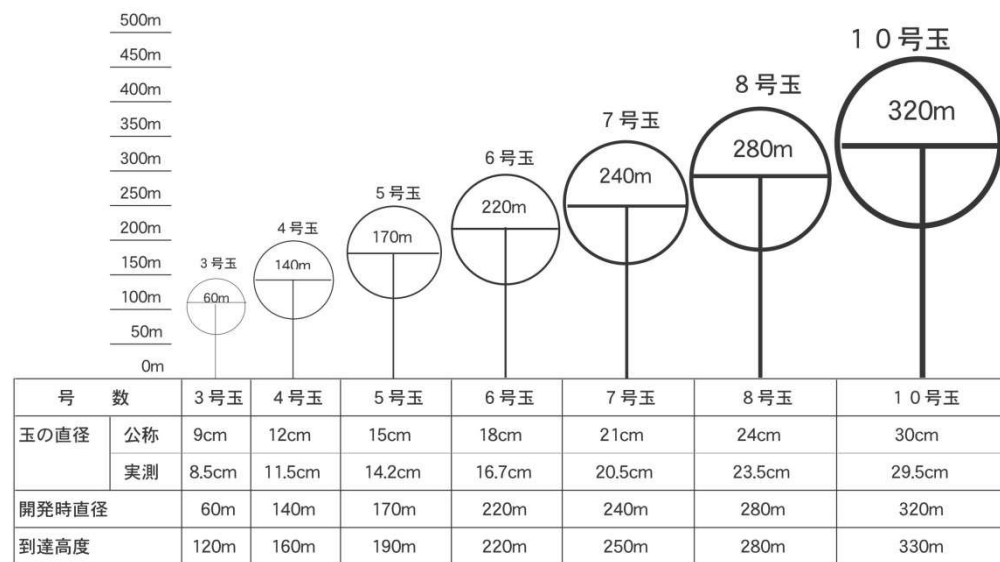
3-1 高品質汎用花火玉製造販売事業

国内屈指の花火製造技術を活用し、輸入が大きな割合を占める5号以下の小型花火玉を製造し国内花火会社へ販売する

■ (株) 花火創造企業が整備した煙火製造工場



■ 輸入が大きな割合を占める5号以下の小型花火玉を製造 (図は「玉の直径」「開発時直径」「到達高度」)



■ (株) 花火創造企業の花火玉出荷数の実績

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4
花火玉出荷数	15,851 発	23,832 発	30,389 発	13,869 発	10,543 発	29,958 発



錦冠菊だけではなく全国の花火業者が必要としている商品を調査し、より汎用性の高い花火玉を販売する

3-2 県内産花火用マツ炭販売普及事業

高品質で安定した県内産花火用マツ炭の製造・粉砕・販売を行い、花火玉の品質向上や山林所得の向上等を図る

■ 県内産花火用マツ炭のサプライチェーンについて



[原材料]
マツ生木

森林組合等



[加工① 炭焼き]
マツ炭（粉砕前）

～R4（一社）大仙市観光物産協会
R5～（株）花火創造企業



[加工② 粉砕]
マツ炭（粉砕後）

（株）花火創造企業



[消費]
花火原料

県内外花火会社等

■ 観光物産協会・花火創造企業の花火用マツ炭の生産及び販売実績

No.	項目	H30	R1	R2	R3	R4
1	[観光物産協会] 生産量	7,012kg	6,238kg	4,600kg	0kg	3,368kg
2	[観光物産協会] → [創造企業] 販売量	7,000kg	6,000kg	0kg	0kg	8,218kg
3	[花火創造企業] 粉砕量	0kg	4,275kg	0kg	0kg	10,870kg
4	[花火創造企業] → [花火会社等] 販売量	0kg	1,590kg	1,035kg	885kg	2,175kg

※R1 [花火創造企業] → [花火会社等] 販売量については、サンプル提供分1,560kgを含む数値



イベントの再開、海外製品の流通の遅れの影響もあり
販売量は順調に推移している。

3-3 国産無線点火システム販売普及事業

新たな連携先を選定し安全性・機能性・操作性に優れる国産の無線点火システムを開発・販売し、国内花火の演出力向上を図る

■ 無線点火システム「PYROLIGHTER（パイロライター）」試作機 4 基の製作を完了



- ✓ 無線点火が可能となることにより、花火会場の地形や観客との距離をフルに活かした細かい演出が可能
- ✓ 有線での使用もできるハイブリットシステムとして提供
- ✓ 国産点火システムであるため、窓口一元化及び日本語での対応が可能であり、アフターフォローを充実



■ 品質の向上及び他社製品との差別化を目指す。



■ 他社製品との差別化を図る



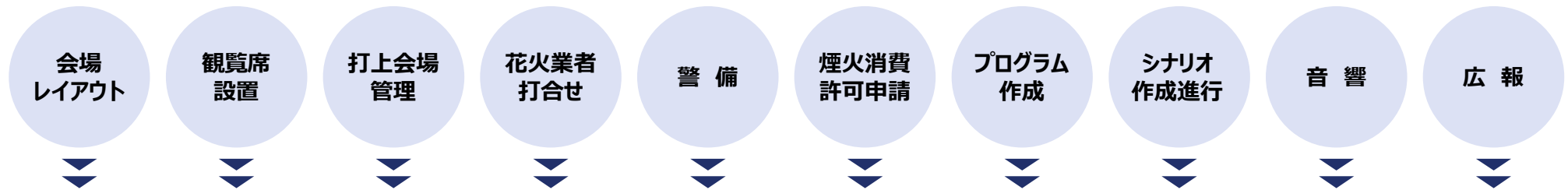
2030年に実現を目指している6Gの調査を行いながら高速・大容量、高信頼・低遅延等の基本性能の進化を目指す

3-4 花火イベント企画運営サポート事業

「大曲の花火」運営ノウハウを活用し、全国の主催者を対象として花火イベントをワンストップで請け負うサービスを提供する

■ 花火イベント企画運営サポート事業（花火トータルプロデュースサービス）について

従来の花火イベントで様々な会社に関わっていた業務をすべて、ワンストップで請け負うサービスを提供する。



全ての業務を株式会社花火創造企業が請負い
業務内容は分野別に体系化し、地元企業等と連携し業務にあたる

■ 今後は県内外の花火大会主催者のサポート業務も請負う



Withコロナにおける社会経済活動の活性化に向けた取り組みをおこなう

3-5 花火製造工程の自動化・省力化

手作業が大部分を占める花火製造工程において将来的に予想される慢性的な人手不足の解消を目指す

■ 花火製造における主要4工程について

① 配合作業



数種類の粉状の原材料をそれぞれ計量し混合する。現在、配合作業の機械化を優先的に検討中。

② 造粒作業



配合によって作られた色火剤等を用いて、花火の一つひとつの光を発する固形物（星）を成形する。

③ 玉込め作業



玉皮の内側に沿うように星を並べる。その上に火薬が擦れ合うことを防ぐ和紙を置き、割火薬を入れる。

④ 玉貼り作業



玉込めした花火玉の表面に紙を貼る。玉貼り作業については既に機械化が行われ、導入されている。

ロボットや自動化設備に置き換えやすい作業への導入を前提に検討を進める。

4-1

「大曲の花火」出品業者宿泊施設・大会管理運営施設建設事業

花火大会運営本部の集約強化、花火師の宿泊場所の確保・待遇改善、天候に左右されない審査会場の確保を図ることにより、安全で質の高い大会運営を展開する。また、新たな事業展開の活動拠点としても利用し、地域経済活性化を図る



建築概要	
敷地面積	4,995.96㎡
延床面積	2,842.29㎡
構造・規模	鉄骨造・地上6F
建物高さ	21.8m
1F	エントランス・ロビー 3室（シングル1、ツイン1、ユニバーサル1）
2F～5F	48室（シングル40、ツイン8）
6F	食堂
屋上	設備スペース
鉄骨2階テラス	警戒警備フロア（139㎡）
鉄骨3階テラス	大会本部フロア（139㎡）

令和6年12月の完成を目指し、令和5年度に造成工事や本体工事等を実施する。

4-2

国際花火観光都市交流推進事業

花火イベントで観光振興に取り組む世界の都市との交流により、「大曲の花火」を世界に発信し、観光消費と交流人口の拡大を図る

■ 国際花火シンポジウムについて

- ✓ 国際花火シンポジウム協会主催
- ✓ 各国の花火関係者が一堂に会する国際会議
- ✓ 2023年にマルタ共和国で第18回大会が開催され「大曲の花火」関係者が参加し、PRを行った。
- ✓ 次回は2025年4月に中国の醴陵で開催されることとなった。



■ 国際花火シンポジウムの開催歴

開催回	年	開催地	開催回	年	開催地
第1回	1992	モントリオール (カナダ)	第10回	2007	モントリオール (カナダ)
第2回	1994	バンクーバー (カナダ)	第11回	2009	プエルトバヤルタ (メキシコ)
第3回	1996	ウォルトディズニーワールド (アメリカ)	第12回	2010	ポルトノヴァ (ポルトガル)
第4回	1998	ハリファクス (カナダ)	第13回	2012	マルタ (マルタ)
第5回	2000	ナポリ (イタリア)	第14回	2013	長沙 (中国)
第6回	2001	ウォルトディズニーワールド (アメリカ)	第15回	2015	ポルドー (フランス)
第7回	2003	バレンシア (スペイン)	第16回	2017	大仙市 (日本)
第8回	2005	滋賀県 (日本)	第17回	2019	プエルトバヤルタ (メキシコ)
第9回	2006	ベルリン (ドイツ)	第18回	2023	マルタ (マルタ) ※2020年より延期



情報収集を行い、花火文化事業の進め方を検討していく

4-3

国際花火競技大会開催事業

海外で活躍する花火業者等が出場する競技大会を開催し、国内花火業者のレベルアップとインバウンド誘客を図る

■ 世界各地の国際花火大会の開催状況について

マルタ国際花火大会

- ✓ 4月開催
- ✓ マルタ マルタ島
- ✓ 5か国から6社が参加
(2023大会)

ハノーファー国際花火大会

- ✓ 5月～9月のうち5日開催
- ✓ ドイツ ハノーファー市
- ✓ 5か国から5社が参加
(2023大会)

モントリオール国際花火大会

- ✓ 6月～8月開催
- ✓ カナダ モントリオール市
- ✓ 6か国6社が参加 (2023大会)
- ✓ 大曲の花火協同組合として
2024年大会に出場してもらいたいとの主催者からの要望により参加を計画中。2023年7月に事前視察予定。

マカオ国際花火コンテスト

- ✓ 9月～10月開催
- ✓ 中国 マカオ
- ✓ 国内外から9社が参加
(2023大会)

モントリオール国際花火大会への出場をステップに、国際大会での知名度向上を図り、令和10年に大仙市での開催を計画している国際花火シンポジウムに合わせての国際花火競技大会の開催を検討していく。

4-4 四季の「大曲の花火」開催・販売促進事業

四季に合わせて「大曲の花火」を開催することで、ブランド力を最大限に活かし通年での誘客を図る

■ 令和4年度 四季の「大曲の花火」開催状況について

—新作花火コレクション—
—春の章—

大曲の花火
OMAGARI HANABI
— SPRING FESTA —

新作花火 コレクション2022
2022.4.29 (金) 19:00~20:30
春の章 世界の花火 日本の花火
2022.4.30 (土) 19:00~20:30

共 催 大仙商工会議所・大仙市

SPRIG FESTAとして
令和4年4月29日(土)新作花火コ
レクション、30日(日)春の章を2
日連続で開催した。

第94回全国花火競技大会

大曲の花火
OMAGARI HANABI
第94回 全国花火競技大会

2022年8月27日(土) 藍花火 17:15~ 大会テーマ
夜花火 18:50~ 平生凜々
the pride of Japan
日本の誇り

令和4年8月27日(土)に開催。
桟敷席の代わりにテーブル席を設
置するなど新しい様式で実施した。

—秋の章—

大曲の花火
OMAGARI HANABI
— 秋の章 —

花火劇場
2022.10.1 SAT 土
18:00-19:30 | 15:00-
「大曲の花火」公園

約8,000席

令和4年10月1日(土)に開催。
地元花火業者5社の若手花火師
による尺玉と創造花火競演などを
実施した。

新型コロナウイルスの感染防止を徹底した新しいスタイルで四季の「大曲の花火」を開催する

4-5

“あなただけの花火”打上事業

プライベート花火等を内容とした通年型の観光商品を開発し、誘客と滞在時間の増加を図る

■ 株式会社花火創造企業、はなび・アムの花火関連ツアー受注

- ✓ 体験型修学旅行誘致事業及び旅行エージェント等招請事業でプライベート花火、工場見学、模擬玉づくり体験を担った花火創造企業へ令和4年度においてもそれぞれのコンテンツの直接依頼があった。

種別	団体数 [団体]				参加者数 [人]
		工場 見学	模擬玉 づくり	花火 打上	
修学旅行	7	7	6	0	220
その他	14	11	8	2	513
合計	21	18	14	2	733

- ✓ 同じく、体験型修学旅行誘致事業及び旅行エージェント等招請事業でコンテンツの一つであったはなび・アムには、令和4年度は7校159人の学校が修学旅行で訪れた。

■ 花火大会を含む県南広域モニターツアー

- ✓ 大仙市観光物産協会と横手市観光推進機構の共同で行われた県南広域モニターツアーにおいて、神岡南外花火大会も体験していただき、参加した旅行エージェント5社全てから商品として販売してみたいとの意見があった。



引き続き受け入れを継続すると共に、機会をとらえてPRを行う。
クルーズ船向け花火についても令和4年度にデモンストレーション花火を実施して今後の受注に繋げる。

4-6

花火大会におけるイベント民泊の推進

「大曲の花火」において民泊活用を拡大することで、宿泊施設の不足に対応し、観光客数と観光消費額の増加につなげる

■ これまでの事業実績について

- ✓ R2,R3年度は全国花火競技大会の開催延期により実施されなかった。
- ✓ R4年度は、これまでの事業参加者へのアンケート結果において、感染症への懸念がまだ大きいという意見が多く、実施を見送った。

年度	住宅提供者		宿泊応募者		宿泊者	
	申込件数	提供件数	応募件数	予定人数	宿泊件数	宿泊人数
H30	12軒	10軒	17件	56人	10件	42人
R1	14軒	11軒	31件	108人	11件	52人
R2、R3、R4	新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施せず。					

■ 今後の事業について

- ✓ 宿泊料金自由化、複数団体受入可能など事業参加者からの要望を反映させた形で実施する。
- ✓ 先着順で決定させ、予約確定までを迅速化する。
- ✓ 一連の業務を大仙市と大仙市観光物産協会で分担して行う。

業務	大仙市	大仙市観光物産協会
方針決定	○	
自宅提供者、宿泊者募集		○
説明会開催	○	
自宅提供依頼	○	
申込受付、マッチング		○
事後アンケート		○

自宅提供者、宿泊者双方の意見を伺いながら、安全・安心な事業運営を行っていく

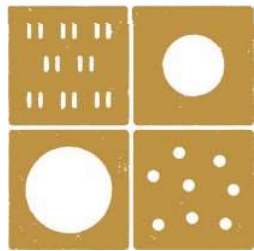
4-7

お土産商品ブランド「せんのぜん」展開事業

大仙市お土産商品ブランド「せんのぜん」の参画事業者拡大とラインアップ充実を図り、花火イベントでの消費拡大につなげる

■ せんのぜんブランド協議会による実施体制

大曲の花火



秋田・大仙

せんのぜん

せんのぜんブランド協議会

令和2年3月24日設立 辻 卓也 会長

観光物産協会

- ・ 協議会事務局
- ・ 道の駅等からの商品受発注窓口
- ・ ニーズ調査

参加事業者

- ・ 商品販売
- ・ 販路拡大
- ・ 販売促進企画
- ・ 新商品開発、既存商品磨き上げ
- ・ 新規参入事業者へ声かけ



■ 「秋田・大仙 せんのぜん」販売実績

- ✓ 花火大会を含む各種イベントの再開や人の流れが増加したことにより、令和4年度の販売額は増加しているが、依然、コロナ禍前の状態には戻っていない。

R1販売額	R2販売額	R3販売額	R4販売額
1,729,438円	570,136円	953,297円	1,404,166円

■ R5年度の取り組み（予定）

- ✓ 物販イベントでの販売、ネット販売
- ✓ 常設販売所の確保、環境設備に関する支援
- ✓ これまで観光物産協会が手数料をいただきながら担っていた、メーカーと販売店間の発注や納品の一部の事務を、メーカーと販売店で直接やり取りしていただくことで、メーカーの収益性と今後の事業持続性を向上させる。

継続的な販売促進活動と同時に、各メーカーによる今後の継続的な事業展開に繋げる

4-8 「大曲の花・美（はな・び）」ダリア販売普及事業

花火を連想させる花卉として開発した「花火ダリア」の認知度とブランド力の向上を図り、関東圏や関西圏、地元での普及・販売に努める

- ジャパンフラワーセレクションで「大曲の花火ダリア 橙炎（とうえん）」がベスト・フラワー【優秀賞】を受賞 ※令和元年度

橙炎

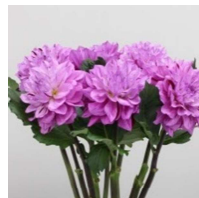


ベスト・フラワー Best Flower

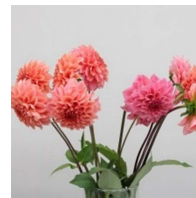
花紫音



紫ながれ



和火



※「橙炎」は、モーストジョイ特別賞、グッドパフォーマンス特別賞を同時受賞

※「花紫音」「紫ながれ」がジャパンデザイン特別賞、「和火」がライフデザイン特別賞を受賞

■ 「花火ダリア」販売実績

No.	項目	R2	R3	R4
1	生産者数（大仙市・仙北市・美郷町）	20人	17人	16人
2	生産総本数	27,130本	20,093本	14,770本
3	販売額	2,924千円	2,560千円	2,430千円



これまで開発した全10品種について一層の認知度・ブランド力の向上を図り、販売促進につなげていく

4-9

「花火のまちのまるごとデジタルスタンプラリー」開催事業

市内各地域のイベントを周遊するデジタルスタンプラリーを開催し、通年での誘客を図る

■ J A F が提供するデジタルスタンプラリーの実施について

(参考：ぐるっと大仙デジタル・スタンプラリー2021)

- ✓ 令和4年度は、全国に約2,000万名以上の会員を有するJ A F（日本自動車連盟）が提供するデジタルスタンプラリーの実施を予定していた。
- ✓ 広域的な観光行政を推進していくために、仙北市、美郷町の2市1町で構成する「大曲仙北観光圏域推進協議会」での事業実施を予定していた。
- ✓ 事業周知用のチラシやポスターの制作費の不足が判明したため、同協議会にて協議した結果、令和4年度は中止となった。



令和5年度は、2市1町が有する各種イベントや行事と連携させた形で広域で実施することで、参加者の増加を図る予定である。

4-10

地域の花火大会等応援事業

毎月開催される特色ある花火大会の運営を支援し、交流人口の拡大を図る

令和4年度 地域の花火大会等応援事業の実施状況

No.	主催団体名称等	開催日	区分	支援額(円)
1	市(余目さくら花火鑑賞会)	令和4年 4月23日	花火打上委託	499,400円
2	市(桧岡さなぶり酒花火)	令和4年 6月 4日	花火打上委託	499,950円
3	協和七夕花火実行委員会	令和4年 7月 9日	運営費補助	2,000,000円
4	史跡の里づくり委員会	令和4年 8月15日	小規模花火	500,000円
5	ドンパン祭り実行委員会	令和4年 8月16日	小規模花火	500,000円
6	大曲農業高校130周年記念実行委員会	令和4年 8月27日	事業負担金	500,000円
7	ふるさと西仙まつり実行委員会	令和4年 9月 3日	小規模花火	500,000円
8	神岡南外花火大会実行委員会	令和4年 9月14日	運営費補助	2,000,000円
5	市(四ツ屋まつり)	令和4年 10月 9日	花火打上委託	500,000円
6	市(大曲南部地区イルミネーション花火)	令和4年 12月17日	花火打上委託	299,750円
10	市(太田の火まつり)	令和5年 2月 4日	花火打上委託	499,070円
12	市(刈和野の大綱引き)	令和5年 2月10日	花火打上委託	1,399,695円
13	市(川を渡るぼんでん)	令和5年 2月11日	花火打上委託	400,000円
14	市(大曲花火倶楽部30周年記念花火)	令和5年 3月26日	花火打上委託	1,000,000円

令和4年 毎月花火が打ち上がるまち

1/1(土) ニューイヤー花火2022
2月 仮祭予行
3月 卒業記念花火
4/23(土) 余目さくら花火鑑賞会
5/21(土) 会津所まつり花火
6/4(土) 第15回 鶴岡さなぶり酒花火
7/2(土) 花火通り商店街七夕花火
7/8(土) 秋田県立大曲中学校第31回七夕花火大会
7/9(土) 第39回 協和七夕花火
8/15(土) まつり産業せんぼく2022
8/15(土) ふるさと西仙まつり
8/16(土) 第38回 ドンパン祭り
9/14(土) 第43回 神岡南外花火大会
10/9(土) 第13回 四ツ屋まつり
11/3(土) 収穫祭花火
12/17(土) 大曲南部地区イルミネーション花火

大曲の花火
OMAGARI HANABI

四季の花火「大曲の花火」公開 秋田県大曲市大曲東物川河畔

SPRING FESTA 2日連続開催
新作花火コレクション2022 春の章 (一社)日本煙火芸術協会 60周年記念花火 世界の花火・日本の花火
4月29日(金) 約5,000発 4月30日(土) 約8,000発

第94回 全国花火競技大会 8月27日(土) 約18,000発

第7回 秋の章 劇場型花火 10月1日(土) 約8,000発

「大曲の花火」実行委員会
大曲商工会議所(花火振興本部) 電話0187-88-2873
TEL 0187-88-8073 FAX 0187-66-2873
https://www.omagari-hanabi.com

各花火大会等の開催について花火大会運営補助、花火打上業務委託等により支援する